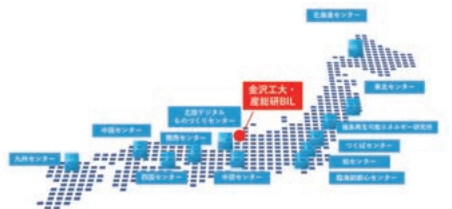


# 金沢工大・産総研 先端複合材料 ブリッジ・イノベーション・ラボラトリ

循環型社会の実現に向けた革新的複合材料の開発

- ▶ 金沢工業大学と産総研が持つ材料開発の強みを活かし地元企業と共同研究を推進
- ▶ カーボンニュートラルに向けた天然素材複合材料の研究開発
- ▶ 石川県内の繊維、機械などの地場産業へ成果を還元し地域経済の活性化を目指す

## ブリッジ・イノベーション・ラボラトリ (BIL)



・産総研では全国 12 の研究開発拠点で地域ニーズに沿った研究開発を実施

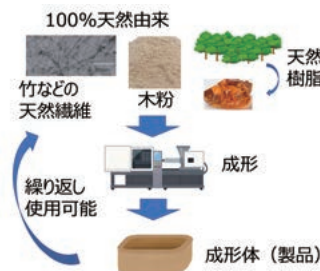
全国初となる BIL を金沢工大 ICC (革新複合材料研究開発センター) に整備



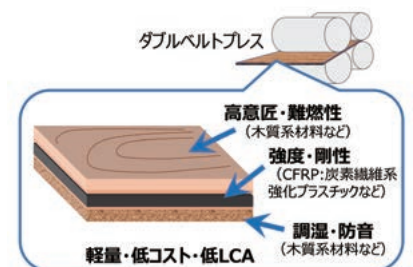
■ 金沢工大と産総研は、企業ニーズを核とした研究開発を連携して実施。その成果の橋渡しを通じて、地域企業の事業化を支援し新産業創出・地域経済の活性化・社会課題解決を目指すための新たな連携拠点として BIL を整備した。

## 資源循環型 FRP、低環境負荷型の CFRP への取組み

- 炭素繊維複合材料の製造段階において CO<sub>2</sub> 排出量を減らすことが課題となっており、環境負荷を低減した環境適合型の新たな複合材料の開発及び社会実装が求められている。
- 天然素材を用いた資源循環型複合材料の開発 (研究 1)、CFRP と木材等を積層して様々な機能を有する革新的な低環境負荷型の材料を開発 (研究 2) で、地域経済産業の活性化を目指す。



研究 1 : 資源循環型複合材料の開発 (100%天然由来成分での成形品)



研究 2 : 低環境負荷で競争力のある複合材料の開発 (積層一体成形品)

## 輸送機器や建材などへの FRP 用途拡大 / ネガティブエミッションとなる木材の活用

- 循環型社会の実現に向け、金沢工大 ICC がもつ CFRP 成形プロセス技術と産総研のもつ木質素材の改質・成形プロセス技術を組み合わせ、資源循環や CO<sub>2</sub> 排出削減に資する革新的複合材料を創製するための研究開発を、実用化レベルで実施する。



お問い合わせ E-mail : M-Adcom-BIL-ml@aist.go.jp

